発表タイトル□□□□□□□□□□□□□□□□

*25ｍｍ幅*

*あけておく*

*←　　→*

*発表番号が*

*入ります*

〈1行空ける〉

（化学大院工）○有機太郎、合成花子

〈1行空ける〉

　（本文開始）我々はこれまでに、□□□□□□□□□□

＜＜＜ 第121回有機合成シンポジウム・原稿作成の注意 ＞＞＞

1. 発表要旨（予稿原稿）は、以下の点に注意して作成してください。
2. 原稿は**A4判で作成**してください。**オーラル＆ポスター発表、ポスターのみ発表のどちらも２ページ**です。本テンプレートにより作成していただくと便利です。
3. 今回は**冊子体（印刷製本）とPDFファイルの２種**を作成します。ご提出原稿（１点）を**B5判サイズに縮小**して、**冊子体はモノクロ（白黒）変換**して印刷し、**PDF版はカラー**で作成します。  
   **図表、写真、化学式は、冊子用に縮小とモノクロ化をしても鮮明で判読が可能なものを用いてください（特に小さな文字・記号や精細な図）。**また、PDF版で原稿通りに色合いが再現しない場合があるため、**シンプルな色使い**で作成してください。
4. 用紙は、左右マージン各々**20 mm**、上マージン**20 mm**、下マージン**25 mm**とし、  
   **1行38～40字、1ページ38～40行程度**としてください。
5. １ページ目はこの見本に従い、１行目に発表題目、１行空けて、所属（括弧でくくる）と発表者氏名・共同研究者名（発表者に○）、さらに１行空けて本文をお書きください（発表題目のフォントサイズは12ポイント、所属／氏名は11ポイント）。
6. 事務局にて1ページ目の左上に発表番号を入れますので、**発表題目、発表者氏名の行は左側に25 mmの余白**をお取りください。
7. 本文のフォントサイズは**11ポイント以上**とし、できるだけ**明朝体**を用いてください。
8. 2ページ目は上の部分（発表番号、発表題目、発表者氏名）を除いて全面をお使いください。
9. 本テンプレート中の上記赤字部分は、要旨作成時に削除してください。
10. 引用文献（References）は**原稿の末尾にまとめて**記入してください。
11. 原稿は、PDF形式およびその元データ（MSWord形式）の２つのファイルを提出してください。提出前に、PDFファイルが意図した通りに表示されるか、Adobe Acrobat Readerなどでご確認ください。PDF化する前のデータがWord形式で準備できない場合はご相談ください(PDFからWord形式へ変換したものは不可)。

◆提出締切： **９月３０日(金)必着**

提出方法：PDF形式とWord形式の両方のファイルをEメールで送付してください。  
ファイル名は「発表番号.pdf」および「発表番号.docx」とし、  
メールの件名は「121シンポジウム要旨提出」としてください。

送付先・問合先：　[syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp](mailto:syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp)

（公益社団法人有機合成化学協会　「有機合成シンポジウム」係)